

昭和医科大学烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕広報委員長 真田 建史

〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕03-3300-5231(代表)

第228号

〔2026年8月1日〕

令和8年度烏山病院ワークショップ

令和8年6月12日（金）・13日（土）に昭和医科大学富士吉田校舎にて、令和8年度烏山病院ワークショップを開催しました。

「救急患者受入れ強化について」「特色ある外来設置 -また選びたくなる病院作り-」をテーマに総勢35名で議論を行いました。異なる職種間での交流が深まり、参加者にとって有意義な時間となりました。この議論を活かし、烏山病院の更なる発展に努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



参加者の感想

栄養科 櫻井氏

6月12・13日の日程でワークショップが開催され、「救急患者受け入れ強化」という栄養科の業務からは離れた課題に戸惑いはいりましたが、チームの皆さん、ディレクターである担当理事、ファシリテーターの先生から助言いただき、問題点を洗い出し解決策を立てることができました。

医師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士という栄養士にとって普段接することのない職種と知り、意見し合えたことがとても新鮮で良い経験となりました。この経験を忘れず、自分が出来ることを日々の業務の中で生かしていきたいと思いました。

内科 宮田氏

今回の1泊2日のワークショップでは、富士吉田キャンパスにおいて、外来運営や救急受け入れ体制について多職種で意見交換を行いました。

普段あまり接する機会のないスタッフとディスカッションすることで、それぞれの立場や考え方を知ることができ、患者様により良い医療を提供するため、また病院全体としてより良い運営を実現するために何が必要かを改めて考える貴重な機会となりました。

夜のBBQや懇親会でも交流を深めることができ、今後の連携にもつながる有意義な2日間でした。

作業療法士 田崎氏

今回のワークショップでは、「特色ある外来設置—また選びたくなる病院づくり—」をテーマに話し合いました。診察の待ち時間を単に短縮するのではなく、「待ち時間をいかに有意義に過ごしていただくか」という視点から、多職種ならではのさまざまなアイデアが出され、とても有意義な時間となりました。

普段はゆっくり話す機会の少ない他職種の方々と意見交換ができ、新たな視点や気づきを得られたことも大きな収穫でした。終始和やかで楽しい雰囲気だったので、まだ参加されたことのない方にもぜひ参加をおすすめしたいです。

薬局 楠氏

富士吉田でのワークショップに参加させていただきました。「救急受入れ強化」「特色ある外来設置」をテーマに、医師、看護師、薬剤師、心理職、OT、検査技師、栄養士、事務スタッフなど様々な部署が一丸となり話し合いました。ワークショップを通し他職種の視点から多くの気づきを得ることができました。

私は4月に異動したばかりですが、異動前に後輩から聞いた「温かく距離が近い」という当院の魅力とチームワークの秘訣を体感できました。



写真コンテストを開催しました

リハビリテーションセンター

今年もリハビリテーションセンターでは、デイケア向上委員会主催による写真コンテストを開催し、多くの素敵な作品が集まりました。

今回は「春」をテーマに、風景や動植物、季節を感じる一枚、日常の何気ない瞬間など、撮影者それぞれの感性や視点が光る作品が多数出品されました。投票期間中は、デイケア利用者だけでなく病棟や外来の皆さまにもご覧いただき、作品をきっかけに自然と会話が弾むなど、写真を通じた交流の輪が広がりました。

利用者や病棟の皆さんによる投票の結果、今年の入賞作品が決定しました。表彰式には真田病院長、藤井医師にもご参加いただき、受賞者一人ひとりに賞状が授与されました。受賞された皆さんには温かい拍手が送られ、会場は終始和やかな雰囲気に包まれました。

以下、入賞作品をご紹介します。



銀賞「光の中でゆれる」春のサメ使い



金賞「迎春」よ



病院長賞
「夕暮れ」りる



銅賞「路上に咲く桜」ホヌ



「春眠暁を覚えず」ことり

ご応募いただいた皆さん、そして投票にご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。どの作品にもそれぞれの魅力があり、写真を通してお互いの感性に触れる貴重な機会となりました。来年も皆さんの素敵な作品に出会えることを楽しみにしています。

デイケア活動

A.K さん

みんなの創作プログラムは、毎週木曜日の午前中、ラウンジで行っています。作品は、主に折り紙を使って、季節にあったものを作ります。スタッフが3人ぐらいついて、動画で見本をみながら、作品を作りあげていきます。おおよそ20人ぐらいの人が参加しています。

私は、2年前ぐらいから、このプログラムに参加しはじめました。“つくる”のが好きなので、“何かあたらしいものを作ってみよう”と思いました。

4月と5月は、バラやこいのぼり、カーネーション、テントウムシ、ちょうちょなどを作りました。6月は、あじさいとかたつむり、傘を作りました。

作品が完成すると、デイケアの入り口に飾ってもらいます。自分の作品を飾ってもらうと嬉しいです。きちんと仕上げられたという満足感もあります。デイケアのメンバーの人たちも、作品が増えて喜んでいるようです。

これからも、季節にあった作品を作りたいです。



《 6 月 》	入 院(前 月)	外 来(前 月)
◆延 患 者 数	8,627(8,883)	6,535(5,917)
◇一日平均患者数	287.6(286.5)	251.3(257.3)
◆診 療 実 日 数	30(31)	26(23)

総合サポートセンター ～受診・入院のご相談～

診察時間：月曜日～土曜日 8時30分～17時

電 話：月曜日～土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日 8時30分～14時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。こちら烏山病院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



烏山病院精神医学講座インスタグラムが開設されました。

随時情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【編集後記】

暑い日が続いていますが皆さん熱中症・夏バテ対策は大丈夫ですか？

つつい外にでるのが億劫になってしまいましたが、引きこもっていませんか？

今回のあおぞらはワークショップとデイケアの写真コンテストについて取り上げさせていただきました。ワークショップでは普段顔は知っていても話さない人と相談して考えることの醍醐味を、写真コンテストは写真というツールを使って沢山の仲間と会話を弾ませる事の楽しみを報告してくれました。

一人ではできないこともたくさんの人が集まると可能になる、一人で行うよりもみんなで行う事が楽しい、子どもの漫画のテーマみたいですがどんなことにも当てはまる真理なのかなって思っています。

仕事もリハビリも治療も、大変なことがあってもみんなで相談しながら協力して行うことで楽しく乗り越えていけたらそれが理想です。

ぜひぜひ涼しい時間を見計らって新しい仲間づくり、今までの仲間との楽しい行動を沢山していただけたらと思います。報告お待ちしております。

(広報委員 常岡)